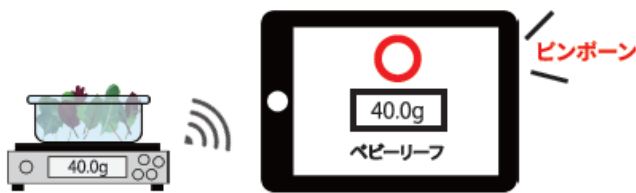


ハカリマスター-i

農福連携 システム

農福連携の生産現場における作業ミスの減、生産性の向上及び働く障がい者のモチベーションの向上と喜びを最大化する

野菜のパック詰め作業に「自動カウント機能」及び「褒める機能」を備えたシステムを導入

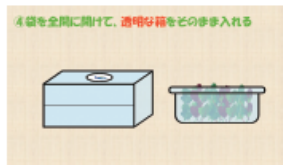


計量結果が適正となったときに視覚的・聴覚的に分かりやすく表示する。
さらに生産性の向上を図るため、計量結果を自動的に記録し、日々の生産性を把握できるようにする。



働く障がい者のモチベーションの向上のため、計量結果が連続して適量となった場合に「褒める」システムを導入する。

PCで確認できるアニメーションマニュアルの作成



働く障がい者が、作業方法等を繰り返し学ぶことができるよう、アニメーション技術を活用したマニュアルを製作し、作業現場ですぐに参照できるようにすることで、生産性の向上を図る。



動画マニュアルによって作業指示する指導員の負担を軽減するとともに、指導員のノウハウやスキルの上昇を図る。

お客様の声

有限会社照沼農園様 所在地：茨城県水戸市



ハカリマスター-iの導入前には、ベビーリーフ40g入りの1袋の重さが、生徒によってばらつきが多く、再計量が頻繁に必要でした。風袋を抜かず計量する生徒もいて、再計量してみると35gになることもありました。また、1人の先生では計量ミスに気づくのが難しく、作業を効率的に進められませんでした。

ハカリマスター-iの導入後、「Oの表示とピンポーン音」「Xの表示とブーの音声により、計量ミスが完全になくなり、計量速度が向上しました。数字が読めない生徒も作業に参加できるようになり、**4人で400パックを3時間**で処理できるようになりました。

以前までは、1袋に2株入れるべき野菜が1株しか入っていないこともありましたが、ハカリマスター-iを使用することで、野菜ごとに大中小が明確になり、1袋に入れる数量を正確に伝えることができるようになりました。結果として、野菜の1袋の重量が均一になり、販売所での陳列が整然とし、売れ残りがなくなり大変助かっています。

